



令和3年度まちづくり活動助成金
公開報告会

2022.01.22

耀く大野町まちづくり委員会

事業概要

約800名の大野町全住民に「10年後20年後どんなまちになりたい・なって欲しいのか」をテーマに住民アンケートを実施しました。

- ✓ アンケート調査結果から次年度以降に優先順位をつけて解決すべき課題に取り組んでいきます。
- ✓ 住民はアンケート調査結果から地域課題解決の意識が高まり、よりよいまちづくりのきっかけができると思います。

事業内容

- ✓ アンケートの作成から編集までの検討をワークショップ等で実施（13回のべ参加人員266名）
 - ✓ アパートの方へもアンケートを配布し、誰一人取り残すことなくアンケートを実施
 - ✓ アンケートの回収率を上げるため、班長・各種団体による個別配布・回収を実施
-
- ・ 配布枚数：約900部+インターネット回答
 - ・ 有効回答数：452件
 - ・ 回答率：概ね60%

成果（できたこと）

アンケート調査は今回が初めての取り組みだった。
分析結果から見えていなかった地域課題が浮き彫りになった。

例えば、10年後の空き家問題、公園の整備や公民館の利用方法などがある。

また、アンケートの回答過程においても家族の対話が生まれ、小学生のアンケート記入時に家族全員で話し合いの場が持たれた。

よかったこと

アンケート作成の段階から分析までまちづくり推進課さんや岐阜大学の皆さんにご協力をいただけたことが成功のカギだと思います。

また、今回のワークショップでも活発な意見交換ができて大野町を変えていこうという機運が高まりました。

本日アンケートに関わっていただいた学生の方にも参加いただいております。感じたことを一言お願いできますか。

今後の予定

10年後に「10年後どんなまちになったか」の評価測定をしたいと考えています。

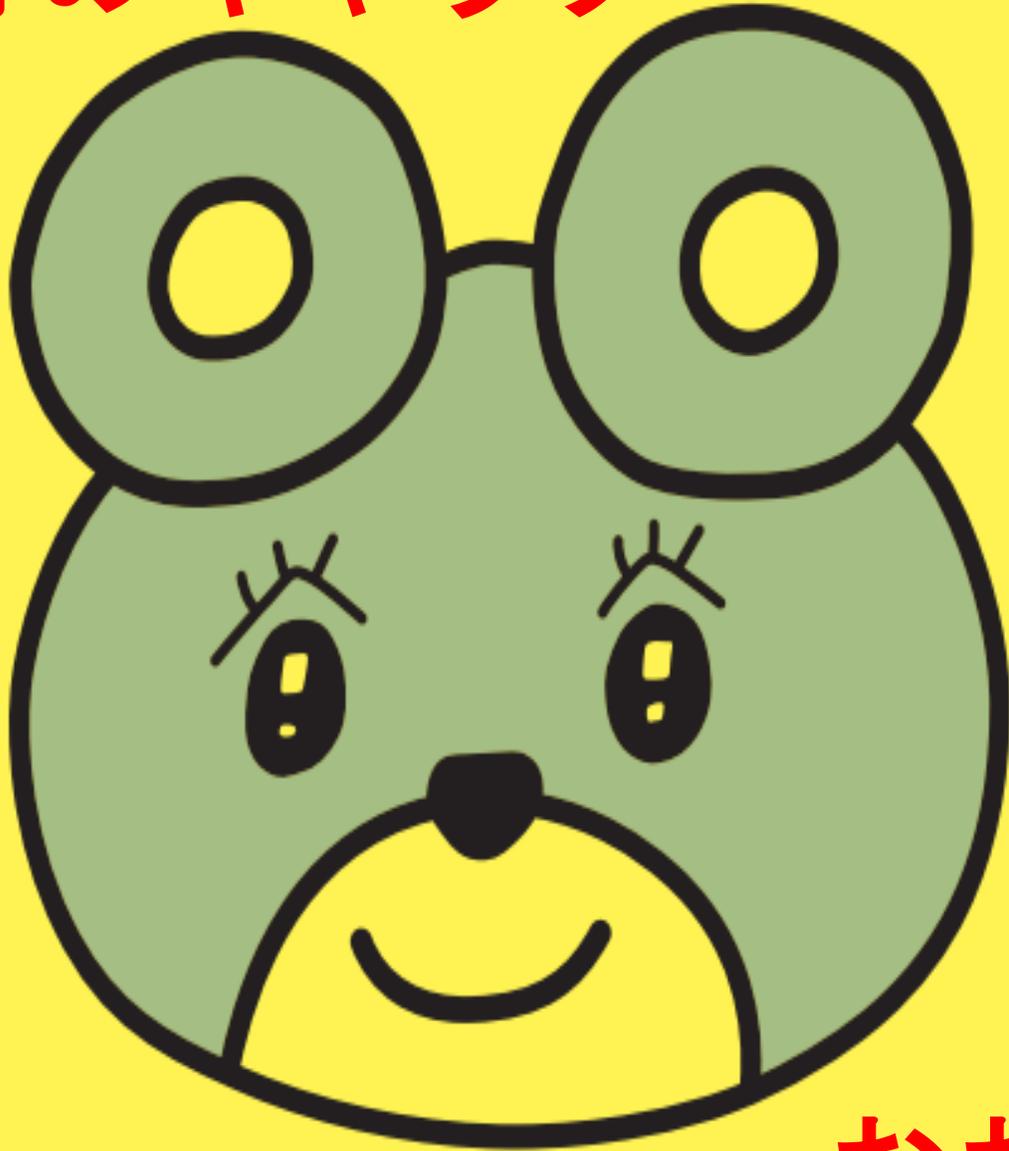
10年後もアンケートができるように、もっとメンバーを増やし、IT化していききたいと考えています。

アンケートの内容

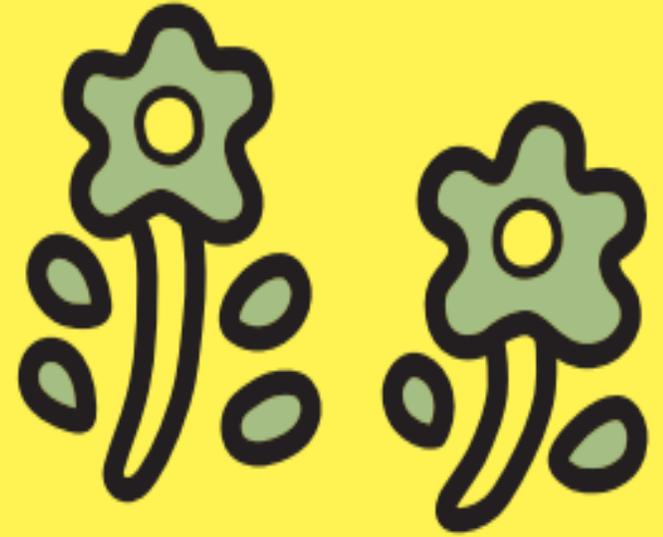
時間があれば

アンケートの内容を少しご紹介させていただきます。

大野町のキャラクター



NONO



おおのっくま